

六君子湯・陳皮

藥局文献檢索資料

1999. 4. 5

六君子湯による薬剤性肺炎の1例
-丸山 佳重-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名： 32巻 1994年 1号 84頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：呼吸器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：ドグマチール

内容：症例報告：慢性胃炎[79歳、女]①六君子湯投与6ヶ月後、間質性肺炎を
発症した。②薬剤性間質性肺炎が疑われた為投薬を中止し、LMITを施行
したところ、同薬剤に対し陽性を示した。又各成分についてのLMITを実
地した結果、半夏が弱陽性を示した。 参照：日胸疾会誌

「返品」：副作用情報284

生薬：
成分：
処方：香砂六君子湯

雑誌名：東医研データ 巻 1994年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：血液
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：白血球減少[T15.1.30、女]；上記処方後、食欲不振となる。
その後、補中益気湯に変更となった。(丁)

「返品」；副作用情報283

生薬：
成分：
処方：柴芍六君子湯

雑誌名：東医研データ 巻 1994年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：内分泌・代謝系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：高血糖[s14.10.6]；上記処方後、嘔吐発現。その後投薬中止となった。
(石野)

精神科領域におけるツムラ六君子湯の治療経験-抗うつ効果について-
-浅見 隆康-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：新薬と臨床 42巻 1993年 1号 75頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：脳・神経系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：①対象：抑鬱状態の経過中消化器型病症状の遷延した症例15例
②結果；1)六君子湯併用治療経験において消化器症状及び抑鬱について
も有用性が認められた2)ハミル鬱病評価尺度による総得点の推移では、
投与4週間後に有意な減少が認められた

各種和漢薬の抗酸化能ならびに虚血再灌流惹起性胃粘膜障害に対する阻止効果
-吉川 敏一-

生薬:
成分:
処方: 柴胡桂枝湯、四逆散、六君子湯

雑誌名: Prog・Med 11巻 1991年 ***号 502頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 消化器系
剤形: エキス剤 投与経路: in vitro 投与量:

併用薬:

内容: ①柴胡桂枝湯、四逆散、六君子湯を用いた基礎実験においてsuperoxide
消去能は四逆散が最も著明で次いで柴胡桂枝湯であった②hydroxyl rad
ical消去能は四逆散が最も強く、次いで六君子湯であった③①②より
加減数が右加減胃潰瘍作田を右オス重が示唆された

情動ストレスとツムラ六君子湯、補中益気湯
-岡 孝和-

生薬:
成分:
処方: 六君子湯、補中益気湯

雑誌名: 漢方医学 16巻 1992年 5号 0頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①不定愁訴患者で上腹部愁訴を主訴とした23例、四肢倦怠感を主訴とし
て18例に、それぞれ六君子湯、補中益気湯を投与した。②両剤共下垂体
-副腎系に調節的に作用している可能性が示唆され、不定愁訴患者の全
身状態、数値が著明に改善された。

消炎鎮痛剤使用下消化器症状に対する六君子湯の有用性について
-田中 政彦-

生薬:
成分:
処方: 六君子湯

雑誌名: 日本東洋医学雑誌 44巻 1993年 1号 1頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①対象: 44例 期間: 2週間②結果: 1)最終全般改善度は86%であった
2)六君子湯は六君子湯証陽性側により有効であった③副作用: 認められ
なかった

六君子湯、補中益気湯の副腎皮質機能、自律神経機能に及ぼす影響
-岡 孝和-

生薬:
成分:
処方: 六君子湯、補中益気湯

雑誌名: 日本東洋医学雑誌 43巻 1993年 3号 111頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 内分泌・代謝系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①血清コルチゾール値は六君子湯(R)投与群では、高値のものは低下し低値の
ものは増加した。又補中益気湯(H)投与群では高値のものは低下した。
②H群、R群共にコルチゾール値に対しては調整的に作用する事が明らかになっ
た。③HはCVR-R値を増加する事が認められた。

消化管の空腹期強収縮運動に及ぼす六君子湯の影響
-村国 均-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 43巻 1992年 2号 15頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量： 2.50g/day

併用薬：

内容：六君子湯投与の結果、①消化管IMC発現周期の短縮②十二指腸から回腸迄の蠕動運動の伝播時間であるTETを有意に促進③IMCのphase IIの出現率を増加、以上の事が報告された。

食道酸逆流と胃食道逆流症状との関係-胃食道逆流症状に対するTJ-43ツムラ六君子湯の効果-
-山本 佳洋-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：薬局 45巻 1994年 12号 145頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：

内容：①対象：GER32例②結果：1)食道酸逆流時間が約2%以下と少ないGER症例には六君子湯が有効であった 2)本方投与により、自覚症状の改善した症例は食道や咽喉症状を訴える例が多く認められた

口内苦汁感に対して六君子湯が有効であった慢性胃炎の2例
-元雄 良治-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方診療 12巻 1993年 4号 4頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：

内容：症例報告：慢性胃炎[73歳、女][57歳、女]六君子湯投与により、病態及び口内苦汁感の改善が認められた。

六君子湯の胃排出におよぼす影響とその機序についての臨床的実験的研究-予備的研究-
-岸本 真也-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方と最新治療 1巻 1992年 1号 63頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：

併用薬：

内容：①六君子湯はヒト及びラットの胃排出能を亢進させた。②①の機序においては、胃幽門前庭部粘膜から放出されたガストリンが関与する事が示唆された。

慢性人工透析患者の腹部症状に対するツムラ六君子湯の使用経験-胃腸症状の軽減と血圧の安定化作用- 西田 正夫

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方診療 10巻 1991年 5号 31頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：5.00g/day

併用薬：

内容：症例報告：尿毒症[63歳、男]①六君子湯の内服により、人工透析に伴う幾つかの腹部症状は軽減し愁訴も聞かれなくなった②注目された点は、透析中の血圧降下が緩徐になった点であった

人工ペースメーカーに植え込み後の不定愁訴に六君子湯が奏功した例 西川 昌晃

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方診療 10巻 1991年 3号 67頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：脳・神経系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：症例報告；不定愁訴[32歳、女]人工ペースメーカー植え込み後の不定愁訴改善に対して、六君子湯が有効であった。

神経症うつ症の腹部不定愁訴に対する六君子湯の使用経験 森 秀人

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方診療 9巻 1990年 4号 30頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：プロチアデン、レキソタン

内容：症例報告：神経症うつ病患者[70歳、女]六君子湯が消化器症状の改善に効果を示し、精神症状の改善にも有効であった事が報告された。

慢性胃炎の漢方療法 西岡 幹夫

生薬：
成分：
処方：六君子湯、四逆散、黄連湯、黄連解毒湯

雑誌名：現代東洋医学 13巻 1992年 ***号 118頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：症例報告：慢性胃炎[65歳、女]投与開始4-5日後に心窩部痛、腹部膨満感等は改善されて、投与2週間後の内視鏡検査では前庭部のびらんは消失した。更に2週間投与を続けて理学的所見の異常及び手足の冷えも改善された。参照：難病、難症の漢方治療第5集（臨時増刊号）

症候群と漢方製剤(16)-腰痛を改善する生薬-
-谿 忠人-

生薬: 芍薬

成分:

処方: 芍薬甘草湯、柴胡桂枝湯、六君子湯、半夏瀉心湯、他

雑誌名: 薬局 40巻 1989年 9号 85頁 通算 頁

報告: その他 標的器官: 筋・感覚器系

剤形: 投与経路: 投与量:

併用薬:

内容: ①腰痛に用いられる生薬と処方 1)腰痛に用いられる漢方処方の体感と症候 2)腹痛の部位毎に応用される漢方処方 3)消化性潰瘍の薬物療法と柴胡桂枝湯 4)術後症候群を軽減する為の漢方製剤 5)芍薬配剤処方の症候と体力 6)芍薬の規格と薬理と薬能②腹痛における伝統医療の病理

症候群と漢方製剤(15)-悪心、気、咽喉頭異常感を改善する生薬①-
-谿 忠人-

生薬: 半夏

成分:

処方: 黄連解毒湯、半夏瀉心湯、六君子湯、半夏厚朴湯、他

雑誌名: 薬局 40巻 1989年 8号 97頁 通算 頁

報告: 標的器官: 呼吸器系

剤形: 投与経路: 投与量:

併用薬:

内容: ①上腹部不定愁訴②上腹部不定愁訴に用いられる生薬と処方1)急性及び慢性胃炎の経過弁証 2)悪心、気、胸やけに用いられる漢方処方の症候と体力: エタノールやアスピリンなどによる胃粘膜の破綻に対する黄連解毒湯、安中散、三黄瀉心湯の作用など3)半夏の規格と薬理と薬能

高齢者胃炎の漢方治療-疾患概念と漢方の選択-
-河村 奨-

生薬:

成分:

処方: 人参湯、四君子湯、六君子湯

雑誌名: 現代医療学 7巻 1992年 2号 95頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①症状による漢方的分類と繁用処方②高齢者の上腹部不定愁訴に対するツムラ六君子湯の臨床的検討: 六君子湯の高齢者不定愁訴に対する効果は自覚症状には高い改善効果を認めるが、胃排出、抗鬱作用には前者ほど比例して効果が認められなかった

「返品」: 副作用情報230

生薬:

成分:

処方: 六君子湯

雑誌名: 東医研データ 巻 1993年 号 頁 通算 頁

報告: 副作用 標的器官: 感染・免疫系

剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 花粉症[s40.3.29、女]: 上記処方後、嘔気発現。その後、半夏瀉心湯に変更となった。(小泉)

「返品」：副作用情報220

生薬：
成分：
処方：香砂六君子湯

雑誌名：東医研データ 卷 1993年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：脳・神経系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：神経症・不眠[s31.11.28、女]：上記処方後、腹痛を認める。
その後、小建中湯（膠飴1）に変更となった。（石野）

「返品」：副作用情報212

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：東医研データ 卷 1993年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：呼吸器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：喘息[T7.2.1、女]：上記処方後、悪化。その後、苓桂朮甘湯に変更となった。（花輪）

「返品」：副作用情報152

生薬：
成分：
処方：柴芍六君子湯

雑誌名：東医研データ 卷 1992年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：臨床一般
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：体質改善[s9.4.29、男]：上記処方後、胃痛発現。
その後、柴胡桂枝湯に変更となった。（村主）

「返品」：副作用情報120

生薬：
成分：
処方：2/3六君子湯

雑誌名：東医研データ 卷 1991年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：消化器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：食欲不振、胃腸炎[s53.8.30、男]：上記処方後、頭痛発現。半夏白朮天麻湯に変更となった。（広田）

漢方薬の香りと作用

生薬:
成分:
処方: 清暑益気湯、六君子湯

雑誌名: 月刊薬事 37巻 1995年 12号 135頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 消化器系
剤形: 煎剤 投与経路: 動物経口 投与量:

併用薬:

内容: ①漢方薬の香りが消化管運動に及ぼす影響②高温多湿環境下での消化管運動抑制への清暑益気湯および六君子湯の効果③夏ばて動物実験モデルと清暑益気湯の効果

「返品」: 副作用情報 49

生薬:
成分:
処方: 香砂六君子湯加大黄 1

雑誌名: 東医研データ 巻 1989年 ***号 ***頁 通算 頁

報告: 副作用 標的器官: 消化器系
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 胃潰瘍[s36.3.20,]上記処方後、顔に皮疹発現。その後、補中益気湯に変更したところ、皮疹は止み、症状も安定した。(丁)

食欲不振に対する六君子湯の効果

生島 忍

生薬:
成分:
処方: 六君子湯

雑誌名: 漢方診療 8巻 1989年 4号 31頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: 症例報告: 食欲不振[59歳、男] 飲食不摂生によって起こった食欲不振 体重減少の患者を漢方的には虚勞、弁証は脾気虚弱痰湿内生の証と判断し、六君子湯を投与したところ速やかな症状改善と体重増加を認めた

産婦人科領域における新しい漢方療法の試み

後藤 順子

生薬:
成分:
処方: 牛車腎気丸・六君子湯

雑誌名: 漢方医学 15巻 1991年 12号 19頁 通算 409頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬: プロモクリプテン

内容: ①老人性膀胱炎に対する牛車腎気丸の効果について: 牛車腎気丸投与の結果、85.2%に症状軽快を認めた②プロモクリプテンの副作用に対する六君子湯の効果について: 高PRL患者に対し併用した結果、嘔吐、悪心の副作用は著しく抑制され、パロージェルの治療効果を高める事が出来た

上腹部不定愁訴とツムラ六君子湯の胃排出促進作用
-須山 哲次-

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：漢方医学 15巻 1991年 3号 0頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：上腹部不定愁訴患者に六君子湯を投与した結果①投薬前の平均胃排出時間136.2分（正常値は93.5分）が投薬後97.6分と28.3%有意に短縮された。②投薬前の不定愁訴の大半が消失、軽快した。

健胃消化薬—漢方処方における薬効群—V処方解説：六君子湯、茯苓飲
-原田 正敏-

生薬：
成分：
処方：六君子湯、茯苓飲

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 1号 90頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：筋・感覚器系
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：

併用薬：

内容：六君子湯、茯苓飲の放射線障害保護に関する検討について
参照；放射線障害防護薬剤に関する研究（第29報）放射線皮膚障害に対する各種漢方方剤のメタノールエキスの防護効果、薬誌110, 218-224
1990

パーキンソン病の漢方治療
-松山 幸孝-

生薬：
成分：
処方：六君子湯、抑肝散加陳皮半夏

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 1号 241頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：筋・感覚器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：L-DOPA

内容：症例報告：L-DOPA製剤により治療中のパーキンソン病患者（66歳、男）
L-DOPAの効果が不安定となっている症例を脾の衰えと捉え、六君子湯を併用したところ良好な結果が得られた。
参照；難病、難症の漢方治療第4集（臨時増刊号）

慢性肺炎の漢方治療—難治例における漢方治療の役割について—
-綿引 元-

生薬：
成分：
処方：柴胡桂枝湯、当帰湯、（四逆湯、六君子湯）

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 118頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形： 投与経路： 投与量：

併用薬：メシル酸カモスタット、インスリン

内容：①症例報告：（59歳、男-柴胡桂枝湯）（81歳、男-当帰芍薬散）漢方薬投与により症状の改善が認められた②慢性肺炎の治療は、形態学的診断と機能的診断により肺の病態を十分に把握し、更に腹症も考慮に入れるとよいと思われる。参照；難病、難症の漢方治療第4集（臨時増刊号）

潰瘍性大腸炎の漢方治療例

五ノ井 哲朗

生薬: _____

成分: _____

処方: 桂枝加芍薬湯、 帰膠艾湯、 補中益気湯、 (六君子湯)

雑誌名: 現代東洋医学 _____ 12巻 1991年 ***号 109頁 通算 _____ 頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系 _____

剤形: エキス剤 投与経路: _____ 投与量: 7.50g/day

併用薬: _____

内容: ①症例報告 (33歳、女) 投与3週間後には粘血便消失などが認められ、その後良好な経過をみた。②潰瘍性大腸炎の方剤運用について。参照; 難病、難症の漢方治療第4集 (臨時増刊号)

胃炎の薬物療法; 漢方による治療

太田 康幸

生薬: _____

成分: _____

処方: 六君子湯、 半夏瀉心湯

雑誌名: 漢方研究 _____ 巻 1989年 212号 27頁 通算 275頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系 _____

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: _____

併用薬: _____

内容: 六君子湯、半夏瀉心湯による胃炎に対する治験4報告とその治療効果について 参照: 「消化器内科」Vol10, No5, [1989.5]

TJ-43ツムラ六君子湯の胃排出能に及ぼす影響と臨床治療効果についての検討

原澤 茂

生薬: _____

成分: _____

処方: 六君子湯

雑誌名: 消化器科 _____ 12巻 1990年 2号 12頁 通算 215頁

報告: 治験例 標的器官: 消化器系 _____

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬: _____

内容: ①六君子湯投与によりNUD患者の胃排出能は有意に促進された②六君子湯の上腹部不定愁訴の改善作用の少なくとも一部は、胃排出促進作用に基づいていることが証明された

六君子湯の作用機序について—サイトプロテクションからの検討—

福田 隆

生薬: _____

成分: _____

処方: 六君子湯

雑誌名: Prog・Med _____ 巻 1991年 11号 271頁 通算 449頁

報告: 実験 標的器官: 消化器系 _____

剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 500.00mg/kg

併用薬: _____

内容: 六君子湯は①水浸拘束ストレスによる胃粘膜障害を抑制する②高用量 (1000mg/kg)においてエタノール障害を抑制しサイトプロテクションを発揮する③500mg/kg以下では同作用は認められなかった④インドメサシン惹起性胃粘膜障害に対する抑制作用は認められなかった

各種漢薬の抗酸化能ならびに虚血再灌流惹起性胃粘膜障害に対する阻止効果
吉川 敏一

生薬：
成分：
処方：柴胡桂枝湯、四逆散、六君子湯

雑誌名：Prog・Med 卷 1991年 11号 324頁 通算 502頁

報告：実験 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：in vitro 投与量：

併用薬：

内容：①スーパーオキシド消去能、ヒドロキシラジカル消去能は、四逆散が最も強かった②自動酸化抑制能は、3剤とも濃度依存性に抑制したが、六君子湯が強かった。③胃粘膜びらん面積は六君子湯以外は抑制した④胃粘膜中TBA-RSの増加に対しては四逆散のみ抑制した

漢方製剤の胃分泌に及ぼす影響について
佐藤 弘一

生薬：
成分：
処方：柴胡桂枝湯、四逆散、六君子湯

雑誌名：Pharma Medic 卷 1988年 0号 87頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：消化器系
剤形：煎剤 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：①上記3薬剤は攻撃因子（酸分泌、ペプシン）分泌を抑制し、防御因子（胃粘膜中の糖蛋白）を増加させる可能性が示唆された②3薬剤ともに急性胃粘膜病変発生を抑制③甘草・柴胡・蒼朮-胃液分泌抑制、柴胡-胃液ペプシン活性抑制、柴胡・黄-胃粘膜PGE2増加、が認められた

六君子湯の胃排出能に及ぼす効果-ダブルサンプリング直接法を用いての検討-
須山 哲次

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：Prog・Med 11卷 1991年 2号 329頁 通算 507頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：上腹部不定愁訴を有する胃炎患者を対象とし胃排出試験を行った①対照試験時の胃排出時間に対し、TJ-43投与後の胃排出時間は28.3%有意に短縮改善された②胃排出時間の正常化に伴って愁訴は消失、改善された③投薬前後で各種ホルモンの血中濃度の変動は認められなかった

六君子湯のヒトの胃粘膜血行動態に与える影響 -レーザードップラー法を用いて-
櫻村 博正

生薬：
成分：
処方：六君子湯、柴胡桂枝湯

雑誌名：Prog・Med 11卷 1991年 11号 469頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：①本測定法は、従来胃粘膜血流測定法に比し簡便であるが、再現性は良好であり内視鏡下胃粘膜血流測定法として優れた方法として考えられた②胃炎症例11例中8例において六君子湯投与後、血流量は有意に増加が認められたが、柴胡桂枝湯にはその作用は認められなかった

慢性胃炎
岸本 真也

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：診断と治療 巻 1989年 6号 37頁 通算1425頁

報告：治験例 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：マズレン

内容：①胃炎の内視鏡的胃粘膜病変の改善について六君子湯はマズレンと同等な良好な成績を示し、特にびらんや粘膜色調の変化の改善には優れた効果を持つ事が示唆された。②自覚症状の改善に対しても有用である事が分かった。

六君子湯の胃粘膜防御因子増強作用について
坂上 博

生薬：
成分：
処方：六君子湯

雑誌名：Prog・Med 巻 1991年 11号 497頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：消化器系
剤形：エキス剤 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：六君子湯の臨床検討成績の結果①TCA（タウロコール酸）散布後の胃粘膜PDの低下を抑制②TCA散布面の発赤および出血の頻度の減少③SEM観察下の胃粘膜上皮細胞の損傷脱落は有差なしが認められ、胆汁酸投与による胃粘膜抵抗の減弱に対して防御効果を発揮する事が明らかとなった

Citrus属に含まれるフラボノイドに関する研究（第2報）Citrus属果皮中のフラボノン配糖体含量の経年変化 -石原 朗子-

生薬：陳皮、枳実
成分：
処方：

雑誌名：生薬学雑誌 44巻 1990年 2号 127頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：
剤形： 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：Citrus属生薬についてHPLCにより4種のフラバノン配糖体含量の2年間の経年変化を測定した。その結果、フラバノン配糖体含量は2年間保存しても変化が認められず、従来の経験的な品質評価とフラバノン配糖体含量との因果関係はない事が判明した。

陳皮、ネフリンの抗ロイコトリエン作用
宮本 康嗣

生薬：陳皮
成分：
処方：

雑誌名：漢方研究 巻 1989年 206号 10頁 通算 46頁

報告：実験 標的器官：呼吸器系
剤形： 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：陳皮、ネフリンには、気管のロイコトリエンによる収縮を抑制する作用があり、その作用機序はβアドレナリン作用、特にβ2作用を介するものである事が報告された。参照：第5回和漢医薬学会（1988,8）